

平成 29 年（2017 年）の摩周の火山活動

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○噴火警報・予報の状況、2017 年の発表履歴

2017 年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
-------------	-------------------

○2017 年の活動概況

・火口や噴気の状況（図 1～3）

7 月 14 日に国土交通省北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。噴気は確認されず、赤外熱映像装置¹⁾による観測でも地熱域は認められませんでした。

- 1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

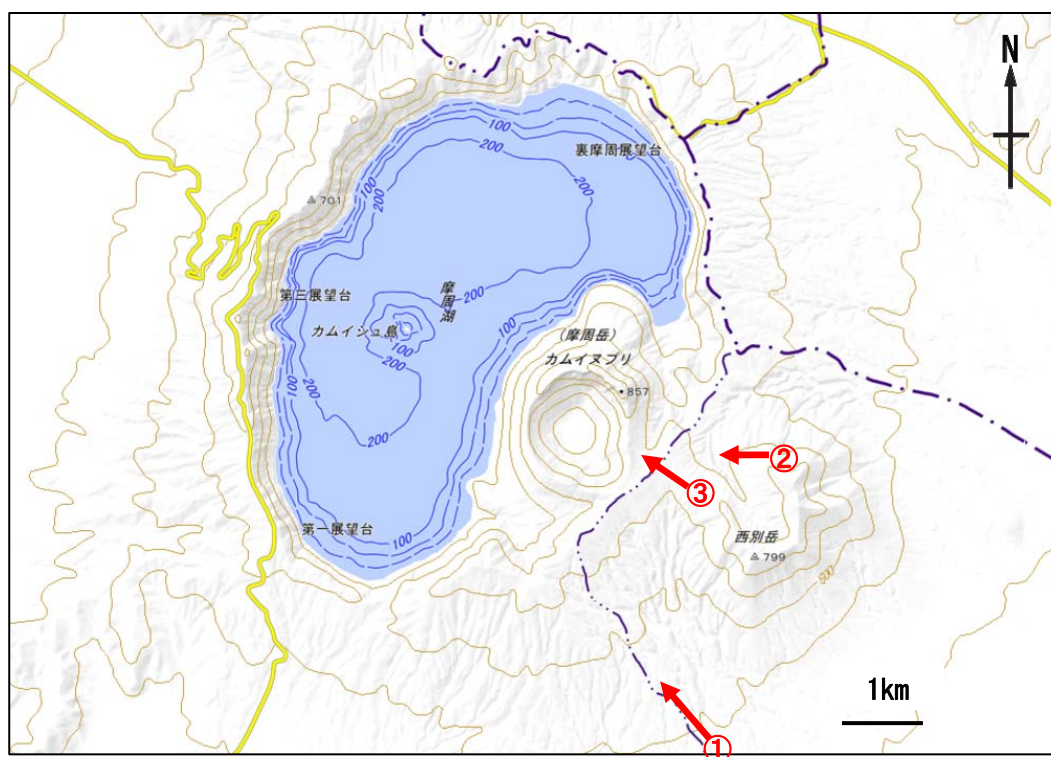


図 1 摩周 周辺図（矢印は赤外熱映像及び写真の撮影方向）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平 29 情複、第 958 号）。



図 2 摩周 南東側上空からの状況
図 1 の①から撮影
・噴気等は認められませんでした

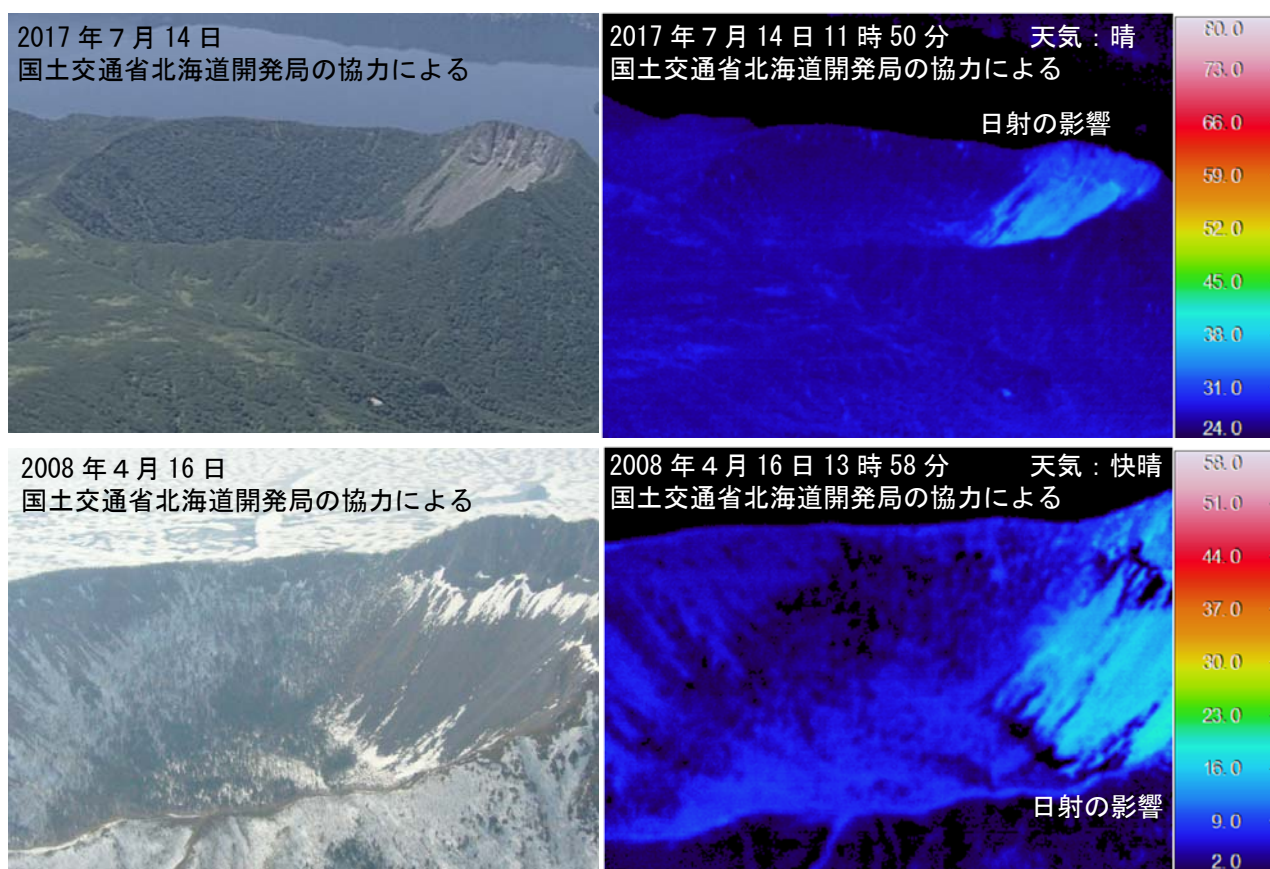


図 3 摩周 カムイヌプリの地表面温度分布
上：図 1 の②から撮影 下：図 1 の③から撮影
・地熱域は認められませんでした